

# 創造都市・浜松から学ぶ♪

第54回夏期講座

## 確かな未来を築くゴム・エラストマーの最新技術

主催：一般社団法人日本ゴム協会

協賛：日本化学会、高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本機械学会、日本接着学会

(予定) 日本合成樹脂技術協会、日本材料学会、日本複合材料学会、プラスチック成形加工学会  
マテリアルライフ学会、日本トライボロジー学会、日本レオロジー学会 (順不同)

第54回夏期講座を来る7月25日(木)・26日(金)の2日間「アクトシティ浜松コンgressセンター」で開催いたします。

昨今、環境変化が加速的に進み、4IR (Fourth Industrial Revolution) とされる著しい産業革新が進むなか、ゴム業界が、これからも産業として成長し続けるためには、新たなニーズに対応した技術力を更に高めていく必要があります、この技術の価値が今後ゴム業界の国内外での運命を左右する鍵となります。そこで今回は技術の創造都市浜松にて、ゴム・エラストマーを中心とした機能素材、加工技術、分析・解析技術、シミュレーション技術など幅広い分野での最新技術を各分野のフロントランナーの方々にご紹介いただきます。また、浜松は日本発楽器の創生の地としても知られており、楽器の歴史、ユニークなエピソードなどを交えた特別講演もございます。ミキサーでは、浜松市の美しい夜景とともに名産品もご堪能いただけますので、多数のご参加をお待ちしております。

開催日：2019年7月25日(木)・26日(金)

会場：講座：アクトシティ浜松コンgressセンター・52+53+54 会議室

会場アクセス：浜松市中区板屋町 111-1 <http://www.actcity.jp/about/access.php>

JR 浜松駅より直結 徒歩5分

ミキサー：オークラアクトシティホテル・パール

会場アクセス：浜松市中区板屋町 111-2 <https://www.act-okura.co.jp/access/>

JR 浜松駅より直結 徒歩5分

定員：120名 定員になり次第締切ります。

受講料：6月21日(金)まで 会員 29,160円、会員外 45,360円、学生会員 5,400円  
シニア 14,580円 (60歳以上の正会員)

6月22日(土)以降 会員 34,560円、会員外 45,360円、学生会員 5,400円  
シニア 17,280円 (60歳以上の正会員)

※消費税とテキスト代を含みます。賛助会員・協賛団体会員は2名まで会員扱いとします。

ミキサー参加費：8,000円(税込)

申込方法：ホームページ <http://www.srij.or.jp> よりお申込みください。

送金方法：銀行振込 (三井住友銀行日比谷支店 (普通) No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会)。送金手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますので予めご了承ください。

問合せ先：一般社団法人日本ゴム協会 第54回夏期講座係 Tel: 03-3401-2957 E-mail: [kurata@srij.or.jp](mailto:kurata@srij.or.jp)

日時	演題	講師・座長
【7月25日(木)】 10:00～	開講のあいさつ	一般社団法人日本ゴム協会会長
10:05～11:05	混練機ローターの最新動向と混練メカニズムについて 主にゴム混練に使用されている密閉式混練機ローターの混練メカニズムについて連続混練機等の混練装置と比較しながら解説する。	【座長】豊田合成(株) 鈴木 壮二郎 (株)神戸製鋼所 山根 泰明氏

- 11:15～12:15 **劣化に対する有機ゴム薬からのアプローチ** 川口化学工業㈱ 大貫 毅 氏  
配合検討の参考となるよう種々の劣化に対抗する加硫系や老防系などを検討し、有機ゴム薬品の使い方についてまとめる。
- 【座長】(一財)化学物質評価研究機構 隠塚 裕之
- 13:15～14:45 **(特別講演①) 楽器にみる精神世界** 浜松市楽器博物館 嶋 和彦 氏  
神の姿、民族の誇り、権力の象徴など、単に音楽を奏でるためだけの道具にとどまらない、楽器の持つ多様な姿を紹介する。
- 【座長】東新ゴム化学㈱ 野村 健二  
日本ゼオン㈱ 井上 利洋 氏
- 14:55～15:55 **卓球ラバーの品質と現状**  
卓球ラバーの種類と規格、使用方法、現在の問題点、要求される品質などについて解説する。
- 【座長】住友理工㈱ 高松 成亮
- 16:05～17:35 **(特別講演②) 次世代車から見た高分子材料への期待** トヨタ自動車㈱ 永井 隆之 氏  
自動車を取り巻く環境から次世代自動車には、電動化、知能化、軽量化への対応が進んでいる。その動きの中で材料、特に高分子材料への期待をまとめる。
- 18:00～19:30 ミキサー



【7月26日(金)】

- 9:30～10:30 **ゴム材料の劣化とトラブル解析** 高取 永一 氏  
(一財)化学物質評価研究機構 仲山 和海 氏  
ゴム材料の劣化因子を解説し、トラブル解析に必要とされる、組成分析法、架橋密度測定法、添加剤分析法、劣化分析法などを、事例を交えながら紹介する。
- 10:40～11:40 **ナノレオロジー-AFM によるフィラー-ゴム界面の粘弾性挙動** 東京工業大学 中嶋 健 氏  
原子間力顕微鏡をベースにしたナノレオロジー測定によってフィラーとゴムの界面領域の粘弾性が明らかになりつつある。ナノスケールの界面で生じていることの現時点での最新の理解を紹介する。
- 【座長】名古屋工業大学大学院 山本 勝宏  
東京大学大学院 伊藤 耕三 氏
- 12:40～14:10 **(特別講演③) しなやかなタフポリマーの実現**  
本講演では、2014年より始まった内閣府革新的研究開発 (ImPACT) 「超薄膜化・強靱化「しなやかなタフポリマー」の実現」プログラムの成果を紹介する。
- 【座長】豊田工業大学大学院 岡本 正巳
- 14:20～15:20 **ゴム材料の適用を目指したシミュレーション技術とインフォマティクス技術** 産業技術総合研究所 森田 裕史 氏  
ゴム材料の解析技術として、我々が開発を進めてきているシミュレーション技術、及びインフォマティクス技術、及びその適用の概要について報告する。
- 15:30～16:30 **SDGs が目指す社会における高分子材料の使い方** 産業技術総合研究所 加茂 徹 氏  
SDGs が目指す社会では、工業製品は価格と品質に加えて環境と倫理で評価される。本講演では、持続可能な社会におけるゴムなどの高分子材料の使用方法を検討する。

16:30～ 閉講のあいさつ 第54回夏期講座運営委員会委員長 今井 英幸  
※プログラムは一部変更になる場合もございます。また、ご宿泊は各自でご手配ください。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp> からお願いいたします。